

- 問1 『新古今和歌集』が成立した時期の歴史的背景や順序について述べた文として、正しいものはどれか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
1. 室町時代の足利義政の時期に、東山文化を代表する作品として編纂された。
 2. 鎌倉時代初期に編纂されており、元軍の襲来である元寇が起こるよりも前の時期の文化である。
 3. 平安時代の国風文化が全盛期を迎えていた頃、醍醐天皇の命令によって編纂された。
 4. 元寇によって幕府の支配が揺らいだ時期、武士の団結を強めるために編纂された。
- 問2 一遍の活動を描いた「一遍上人絵伝」という資料には、一遍が多くの民衆の前で教えを説き、人々が熱狂的に集まっている様子が描かれている。時宗がこのように当時の農民や商工業者などの民衆の間で広く普及した理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 幕府の法典である御成敗式目を遵守することで、極楽浄土に行けると説いたから。
 2. 座禅を組んで自らの力で悟りを開くことが、救済への唯一の道であると強調したから。
 3. 交通の要所に巨大な寺院を建立し、幕府の権威を背景に布教活動を行ったから。
 4. 念仏を唱えるという平易な行いによって、誰でも救われるという教えを説いたから。
- 問3 鎌倉幕府の三代執権である北条泰時が、一二三二年に制定した法令について述べた文として正しいものはどれですか。 (2022年 高知県公立入試 類似)
1. 戦国大名が自分の領国内をより効率的に統治するために、独自に定めた「分国法」と呼ばれる法律の総称である。
 2. 朝廷の律令制度を完全に否定し、天皇や貴族にも幕府の支配を徹底させるために作られた全国統一の法典である。
 3. 元軍の侵攻のあと、恩賞を十分に得られず生活が困窮した御家人の借金を帳消しにするために制定された法律である。
 4. 武士の社会における慣習や道徳をもとに、裁判の公平な基準を示すために制定された最初の武家独自の法律である。
- 問4 源頼朝が全国に守護・地頭を設置する権限を朝廷に認めさせたことは、その後の日本の政治体制にどのような変化をもたらしたと考えられますか。その背景と目的を含めた説明としてふさわしいものを選びなさい。 (2026年 広島県公立入試 類似)
1. 武士が荘園や公領の実質的な支配権を握ることで、幕府が全国の武士を統制し、地方政治に介入する仕組みを整えた。
 2. 貴族による土地所有を全面的に禁止し、すべての土地を将軍の直轄地とすることで、封建社会を終わらせた。
 3. それまで続いていた律令制度の地方官職である国司や郡司と、武家側の守護・地頭を統合し、新しい文武両道の役職を作った。
 4. 朝廷が派遣していた国司の権限を完全に消滅させ、幕府が直接税金を徴収する中央集権体制を即座に完成させた。
- 問5 「祇園精舎の鐘の声」という書き出しで始まり、平氏の繁栄と没落を描いた鎌倉時代の軍記物語はどれか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
1. 平家物語
 2. 太平記
 3. 枕草子
 4. 源氏物語
- 問6 鎌倉時代の1232年、第3代執権の北条泰時が制定した、武士社会の慣習に基づいて裁判の基準を定めた最初の武家法を何といいますか。 (2017年 三重県公立入試 類似)
1. 公事方御定書
 2. 憲法十七条
 3. 武家諸法度
 4. 御成敗式目
- 問7 日本の歴史の時代区分において、「中世」に含まれる時代の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 飛鳥時代と奈良時代
 2. 安土桃山時代と江戸時代
 3. 鎌倉時代と室町時代
 4. 明治時代と大正時代
- 問8 鎌倉幕府が博多湾の海岸線に沿って「石築地（防塁）」を築いた目的や、その軍事的な効果についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 博多の町を津波から守る防潮堤として活用すると同時に、幕府の土木技術を海外に示すため。
 2. モンゴル軍の再上陸を困難にさせ、日本側の武士が石垣の背後から弓矢で攻撃するのを有利にするため。
 3. 外国との交易窓口を博多一か所に限定し、許可のない船が着岸できないように物理的に封鎖するため。
 4. モンゴル軍が使用した「てつほう」と呼ばれる火薬兵器の爆風を、石垣の高さによって海側へ跳ね返すため。
- 問9 鎌倉時代の武士の精神を示す逸話の中に、かつての御家人であった佐野常世が、貧しい生活の中でも「ひとたび鎌倉で一大事が起き、動員令が下れば、すぐさま鎌倉へ駆けつける」という強い意志を示す場面があります。この「いざ鎌倉」という言葉に象徴される、有事の際に幕府のために戦うという義務は、当時の制度においてどのような言葉で説明されますか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 御恩に対する奉公
 2. 守護による軍事指揮
 3. 朝廷への忠義
 4. 地頭としての徴税業務
- 問10 鎌倉時代に新しい仏教が次々と誕生した際、宋での修行を終えて帰国し、禅宗の一派である臨済宗を伝えた僧侶は誰ですか。この人物は中国から茶の種を持ち帰り、日本における喫茶の習慣を広めたことでも知られています。 (2021年 大分県公立入試 類似)
1. 栄西
 2. 空海
 3. 最澄
 4. 道元
- 問11 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして起こした「承久の乱」ののち、幕府が京都に設置した「六波羅探題」という役職の目的として最も適切なものはどれか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 朝廷の動きを監視し、あわせて西国の守護や地頭を統制するため
 2. 幕府の財政を管理し、年貢の徴収や公定価格の維持を行うため
 3. 全国から提出される訴訟を専門に扱い、裁判を迅速に進めるため
 4. 将軍の身边を警護し、鎌倉に住む御家人の不満を解消するため
- 問12 1221年に後鳥羽上皇が幕府を倒そうとして兵を挙げた承久の乱の後、鎌倉幕府は西国の支配を強化するためにどのような措置を講じましたか。最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 朝廷の権威を否定するために征夷大将軍の職を廃止し、執権が京都に常駐して直接天皇の政務を代行する仕組みを整えた。
 2. 豊臣秀吉が北条氏を滅ぼした際と同様に、西国の武士から武器を没収する刀狩を行い、幕府による一元的な兵農分離を断行した。
 3. 上皇側の所領を没収して東国の武士を新補地頭として配属し、さらに朝廷の監視と西国の統括を行う六波羅探題を設置した。
 4. 全国に守護・地頭を設置する権利が初めて認められたことを受けて、すべての荘園に地頭を送り込み、朝廷の徴税権を完全に停止させた。
- 問13 鎌倉時代、社会不安や元寇などの外患が続く中で、「南無妙法蓮華経」という題目を唱えることによって、人々だけでなく国全体も救われると説き、日蓮宗（法華宗）を開いた僧侶は誰ですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
1. 道元
 2. 法然
 3. 日蓮
 4. 親鸞
- 問14 『平家物語』の冒頭に記された「諸行無常」という言葉は、当時の人々の間に広がっていたどのような思想的背景を反映していますか。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
1. 厳しい修行を積むことで、生きたまま仏になることができるという密教の考え方
 2. 死後に阿彌陀仏によって極楽浄土へ導かれることを願う浄土信仰の考え方
 3. この世の全てのものは絶えず変化し、永遠なものは無いという仏教の考え方
 4. 自然の万物に神が宿っており、自然と調和して生きるべきだという神道の考え方